

# コロナ禍明けからの「挑戦する運動会」

## 体操の時間増枠、“ステイホーム”後の園児の身体作りを強化

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野重夫)では、令和 5 年度より保育時間中の体操の時間を大幅に増枠。幼稚園児による 3 段ピラミッド等の大技を含んだ組立体操の他、コロナ禍前よりもプログラムを増やし、今年度の運動会(10 月 7 日・8 日実施)を開催した。

### ■取り組みの背景■

コロナ禍では、幼児教育現場においても「ソーシャルディスタンス」「感染対策に配慮した」カリキュラムの実施を余儀なくされてきた。令和 5 年 5 月～新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、本園では年間カリキュラムの単位で体育指導の時間を増枠。生活様式の変化によって減少している園児の運動時間と体力に対応するための対策を講じてきた。



### ■実施概要■

兼ねてより提携してきた幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブ(本社所在地:東京都品川区、代表取締役:山下孝一)の専門指導員と本園職員による指導。

- パラバルーン(本園では例年年長組で実施) → 年中組で実施
- 組立体操(年長組) → 3 段ピラミッド一気立ちの実施。



### ■組立体操における安全対策

大阪府教育庁のガイドラインに沿い、各ピラミッドに職員の補助をつける。他のプログラムにおいても適切に補助職員を配置。

### ■指導のねらい■

体力の向上・協調性を基礎として、体操を通じて「何故ルールがあるのか」を学ぶ。  
「失敗しながらも挑戦する心」を培い、一人一人の成長に寄り添いながら、資質を伸ばすきっかけとなる経験に繋げていく。



# 幼稚園でスマートデバイスを使った教育カリキュラム導入

## 小学校からの ICT 教育に先駆け、令和 5 年度より正課保育内で実施

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野重夫)は、令和 5 年 4 月から、3~5 歳児クラスの全在園児を対象に、タブレット端末を使用した教育カリキュラムを正課保育時間内で導入します。



2020 年より 4 年かけて行われる予定の施策だった GIGA スクール構想は、新型コロナウイルスの流行により、全国的に前倒して実施されました。現在小学 1 年生から児童一人一人に専用のタブレットが支給されています。

一方、保護者のスマホ・タブレットを用いての動画視聴等、幼児期の子ども達の中でも既に「テレビの見過ぎ」から「動画の見過ぎ」に、懸念が移行している環境にあります。

本園では、スマートデバイスを娯楽目的だけでなく、楽しみながら学ぶツールとして子どもたちに使用してもらいたいと考え、子どもの好奇心を活かせる、これまでの紙のワークブックにはない教育教材を検討してきました。その中で、株式会社フレーベル館(本社所在地:東京都文京区、代表取締役社長:吉川隆樹)サポートのもと、株式会社ユニティ(本社所在地:大阪府大阪市西区、代表取締役:山下優之)が開発する「あそんでまなぶ! for スクール」の導入を決定しました。



言葉や計算、プログラミング等、子どもの発達段階に合わせた教育アプリを利用したカリキュラムを、年少・年中・年長組の全園児向けに令和 5 年度より実施します。

これまでも課外クラブでは、タブレット端末を使った教室は行ってきましたが、今回は就学前学習として全園児を対象に行います。併せて、使用時間を決めて学ぶなど、心と体に影響を及ぼさない適切なデバイスの使い方の習慣を身につけていくことを目指します。



使用機器は、本園卒園児の勤務先:株式会社坂口(大阪府枚方市、代表取締役:坂口貴啓)提供のもと、園所有のタブレット端末 30 台を導入します。今回の取り組みでは、学習意欲や思考力だけでなく、「卒園した園のために何かしたい」「子ども達への投資が、地域への貢献になれば」との想いで協賛いただいたこと自体も園児達と共有し、新しい形で『地域で子どもを見守り、育ててもらう』ことへの感謝の心を育みながら、次世代の地域社会の担い手を育むことも目指してまいります。